

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17096	若者交流推進事業	課名	政策課 政策調整G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ R 3 年度		主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市内在住・在勤・在学の若者
	目的	若者の力によって地域の活力を生み出すため、若者同士の交流機会の創出・充実を図るとともに、若者ならではのまちづくりアイデアを提案するなど、市政への積極的な参画を促進し、地域の活性化を図る。
概要	かめやま若者未来会議を交流基盤として、まちづくりに関する活動に取り組む。令和元年度に発表するまちづくりアイデア(政策提言)を踏まえ、地域の活性化につながるプロジェクトを検討・実践するとともに、市のイベント等に参加し、多様な主体との交流を行う。 また、効果的なアウトプットを実現するための学びとして、視察等を実施する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	まちづくりプロジェクトの検討・実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	まちづくりプロジェクトの実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	
	年度実績	○まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施(1回: 地方創生 政策アイデアコンテスト聴講) ・メンバー会議の開催(11回) ・伊賀市若者会議との交流(1回) ○市のイベント等への参加 1回:東海道関宿街道まつりにて「かめタビ(タビオカミルクティー)」の販売	まちづくりプロジェクトの検討・実践 ・メンバー会議の開催(2回) 市のイベント等への参加 ・行政情報番組の市民アナウンサーとして活動		
事業の計画・実績	計画額	事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	900千円	593千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	287千円	3千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	1,570千円	784千円	0千円	
	一般職員	1,570千円	784千円	0千円	
	所要人員	0.20	0.10		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(+)	1,857千円	787千円	0千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	かめやま若者未来会議の登録者数(累計) 事業開始年度(平成28年度)からの累計登録者数	成果	計画値	50	60
				実績値	56	59
				単位	人	人
	名称	政策アイデアの発表回数 かめやま若者未来会議が行った政策アイデアの発表回数	成果	計画値	1	
				実績値	1	
				単位	回	
	名称	まちづくりプロジェクトの実施回数 かめやま若者未来会議が行ったまちづくりプロジェクトの実施回数	活動	計画値		1
				実績値		0
				単位		回

事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 まちづくりアイデア(政策提言)で提案したメンバーのアイデアを具現化するため、事業の企画・立案に対し、ノウハウを持つ事業者の支援を受けながら、メンバーが主体的に検討する機会を設ける。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場となるような雰囲気づくりに努めるとともに、活動のPRを行い主体的に活動するメンバーの充実に取り組む。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「かめやま若者未来会議」のメンバーが交流したり、まちづくりアイデアの具現化等を検討する場(メンバー会議)をほとんど設けることができなかったが、市ホームページやケーブルテレビで「かめやま若者未来会議」のPRを行った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「かめやま若者未来会議」の対面による交流の場(会議)の設定ができず、メンバー会議2回の開催とケーブルテレビ市民アナウンサーとしての活動のみに止まった。また、コロナ禍で市のイベントが中止となり参加が叶わなかったり、まちづくりに関する先進地視察も実施できなかった。こうした状況下において、メンバー会議を2回開催するとともに、ケーブルテレビ市民アナウンサーとしての活動を行った。	C あまり実施できなかった
	成果	【成果は順調に上がったか】 新型コロナウイルス感染症の影響により、「かめやま若者未来会議」のメンバー会議の設定がほとんどできなかったため、まちづくりアイデアの具体化など、若者による主体的な活動が進まず、市政への参画に繋がる意識醸成や若者同士の交流が低調であった。	C あまり成果を得られなかった

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 コロナ禍で低調となった活動を盛り上げるとともに、若者のまちづくりへの参画を促進するため、まちづくりアイデアの具体化(まちづくりプロジェクトの検討・実践)を進めていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しつつ、外部アドバイザーの協力を得ながら、まちづくりアイデアの具体化に取り組み、メンバーが達成感を持てるような活動を展開する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 メンバーが楽しく交流でき、若者発意の活動等が検討できる場を継続的に提供することで、主体的な活動メンバーの拡大と若者のまちづくりへの参画を促進する。	
	対応時期	令和3年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 大平 守
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	C	
	成果	A	A	A	C	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		593千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	593千円
	令和3年度への繰越額	千円